

2022年11月30日

各位

株式会社三井住友銀行

株式会社ウイルプラスホールディングスへの
「サステナビリティ・リンク・ローン・フレームワーク」の策定支援
及び「サステナビリティ・リンク・ローン」の締結について

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：高島 誠）（以下、「三井住友銀行」）は、株式会社ウイルプラスホールディングス（代表取締役社長：成瀬 隆章/以下、「ウイルプラス HD」）の「サステナビリティ・リンク・ローン・フレームワーク」（以下、「本フレームワーク」）の策定支援を行うとともに、ウイルプラス HD に対し、サステナビリティ・リンク・ローン（以下、「本ローン」）を締結いたしました。

サステナビリティ・リンク・ローンは、借り手のサステナビリティ戦略と整合したサステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット（以下、「SPTs」）を設定し、貸出条件と SPTs に対する借り手のパフォーマンスとを連携させ、SPTs 達成への動機付けを与えることで、環境的・社会的に持続可能な経済活動及び経済成長を促進し、支援することを目指すものです。

ウイルプラスグループは「輸入車のある生活を提案し、より多くの皆様と豊かさ・楽しさ・喜びを分かち合い、関わるすべての人々を温かい笑顔に変えていく挑戦を続ける」を企業理念として掲げ、グループ企業4社、10ブランドを扱う輸入車正規ディーラーとして国内35店舗（2022年9月30日時点）を展開しています。2022年8月公表の中長期戦略では、「社会的価値向上」と「企業価値向上」の両立を目指すことを掲げ、「2030年度温室効果ガス（GHG）排出量（Scope1+Scope2）を2021年度比50%削減」することを KPI に選定し、輸入車販売業界における気候変動問題解決のリーディングカンパニーを目指すことを公表しています。本ローンで定める2つの SPTs は、国内自動車産業の脱炭素化に貢献すると考えています。また、本件では、SPTs 達成への動機付けとして、SPTs の達成度合いに応じて金利条件が連動する貸出条件が設定されています。

- （SPTs）① 2025年度 GHG 排出原単位（Scope1+Scope2/店舗当たり）を2021年度比22%削減
 ② 2025年度末までに全店舗の購入電力を再生可能エネルギーに切り替え
 （※1）2025年度：2024年7月1日から2025年6月30日までの期間

本フレームワークは、国際金融業界団体の LMA（Loan Market Association）、LSTA（Loan Syndications and Trading Association）及び APLMA（Asia Pacific Loan Market Association）にて策定された「サステナビリティ・リンク・ローン原則（2022年3月改定）」、並びに、環境省にて策定された「グリーンローン及びサステナビリティ・リンク・ローンガイドライン（2022年版）」との適合性及び設定した SPTs の妥当性について、第三者機関である株式会社格付投資情報センター（R&I）から「セカンドオピニオン」を取得しています。

SMBC グループでは2021年7月27日に「SMBC Group GREEN Innovator」のコンセプトを公表し、社会のサステナビリティをお客さまとともに実現するためのサービス・商品の提供に一層注力してまいります。また、三井住友銀行では、お客さまのサステナビリティ経営に向けたソリューションの提供や対話を行い、持続可能な社会及び市場の形成にも一層貢献を行ってまいります。

【本ローンの概要】

契約締結日	2022年11月28日
実行日	2022年11月30日
サステナビリティ・コーディネーター（※2）	三井住友銀行
契約期間	5年

(※2) サステナビリティ・コーディネーター：
サステナビリティ・リンク・ローン組成・設計にあたって、借り手の SPTs 設定等の支援を行う機
関。

(参考)

株式会社ウイルプラスホールディングスホームページ：

<https://www.willplus.co.jp/>をご参照下さい。

株式会社格付投資情報センター (R&I) による「セカンドオピニオン」の詳細：

<https://www.r-i.co.jp/rating/esg/sustainabilityfinance/index.html>をご参照下さい。

以 上

【本件に関するお問い合わせ先】
サステナブルソリューション部
TEL：03-4333-6964

このお知らせは、投資や勧誘を推奨することを目的としたものではありません。